

環境振動シンポジウム企画 WG 議事録

A. 日 時 2011年06月24日 金曜日 18:00~20:00

B. 場 所 建築学会会議室

C. 出席者 益田主査, 他6名

D. 提出資料 (提出委員名)

No.01-01 第30回環境振動シンポジウム企画について(案)

No.01-02 鉄道総研見学会について (希望)

No.01-03 「鉄道の持続的発展を目指して」鉄道総研パンフ

E. 議事内容

0. 第30回環境振動シンポジウム企画案 (資料 No.01-01)

- ・本会議の後はシンポジウムの審議は本企画WGで行うものとしたい。
- ・企画案を説明

1. 鉄道総研見学会について (希望) (資料 No.01-02)

- ・会議室の大きさ、乗り心地装置の収容人員、マイクロバスの定員から見学者は24名が望ましい。最大30名。

2. 議論

- ・9/26に委員会の下見を行いたい。7/4の運営委員会で事がらを決定。
- ・人数はWG主査が取りまとめる。
- ・ブレーキ試験機の見学は可能か
- ・12月の会告で知らせる。参加者24名は建築学会(事務局)で処理(先着順)する。
- ・「見学会のみの参加は不可」を会告で明記。
- ・当日の付き添いは鉄道総研所属の委員が行う。
- ・招待講演1 川島先生はOKだが大学の工程が不明である。正式な依頼状を送付。
- ・招待講演2 速水先生5万円の講演料が必要、建築学会の規定は1万5千円。
首都高は出席者のデータを欲しがるので難しい。
「乗り心地評価」はどうか。鉄道総研の方が適任だが。
内部検討の結果を鉄道総研所属の委員から主査にメール。
「浅草から竹橋へ、ウォーターライン、浮き運河レストラン
- ・企画書原稿(会告文含む)は9/22の環境工学本委員会までに準備する。
- ・会告 11月半ば
- ・論文原稿締め切り 12月末 論文査読 1月
- ・配布資料「あゆみ」の作成状況 2001年2002年のデータが無い。HPで資料を求める。

3. その後の資料

- ・鉄道総研委員

9月開催予定の運営委員会と1月のシンポジウムについて

9月26日の運営委員会について

見学会の受け入れは可能ですが、会議室が確保できませんでした。
そのため、1月の見学会で総研概要紹介をする会議室をご覧頂くことができません。
また、9月の見学会での総研概要紹介は、研究所内にあるリニア車両内で行わせていただきます。
また、運営委員会についてですが、会議室を確保できる確約がございませんので、鉄道総研での実施はお断りさせていただきたいと思っております。

1月20日のシンポジウム特別講演について
下記の職員から講演の内諾を得ました。

タイトル(案)「鉄道車両の乗り心地評価」

講演者 鉄道総研 人間科学研究部長 鈴木浩明

9月開催予定見学会(環境振動シンポジウムの下見)の案内文書

また、見学者名簿の作成とパンフレット、ヘルメット等の準備の都合がございますので、9月20日までに見学に来られる方をお知らせ願います。